

野田検定（仮称）問題集掲載問題の作成指針（案）

2016年9月25日（修正）

野田検定企画・実行委員会 大澤

これは、野田検定（仮称）問題集の制作を有志市民の分担・協働で行うことを想定し、作成指針を定めるものです。

- ① 想定対象を中学生程度以上とする。
- ② 旧野田市、旧関宿町を網羅する。
- ③ 野田市を「知る」という視点で問題を作成する。
- ④ 問題集に取り組み、解説を読むことによって結果的に野田市を知ることができるものを目指す（従って、内容は学校教育で習っている・いないには関係なく何でもOKだが、できるだけ平易にするようにこころがける）。
- ⑤ 問題・解説は、主に野田市の出版物を参考にして作成する。
 - ※ 皆さんの知識自慢ではありません。現時点で野田のことに詳しい必要もありません。
 - ※ 既存の資料を参考に皆さんも野田を勉強しながら簡潔な問題と選択肢、解説を作るという取り組みです。
- ⑥ 問題は40字から50字程度（最大でも80字）で作成する。
- ⑦ 回答は短答4択式とする。
- ⑧ 解説は200字程度（最大でも240字）で作成する。
- ⑨ 名所・旧跡・物などは可能な限り各自で写真を撮影しては如何でしょう？
- ⑩ 問題案は原則WEBフォーム¹に入力する（それを大澤がWORD定型フォームに転記しネット上で共有する）。
- ⑪ 問題数は、中項目あたり30問から40問、総数で500問程度を目指す。

【参考資料】（大項目・中項目の分類や問題作成例は以下の文書を参照）

- ・「野田検定（仮称）」実施プロジェクト企画書（コーディネーターズ・のだ）
- ・「野田検定（仮称）」問題票記入例

¹ 野田検定企画実行委員会ホームページ（<http://nodaken.iinaa.net/>）から入力。